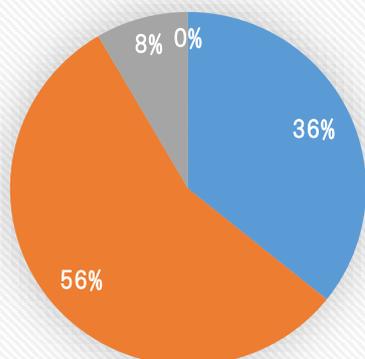


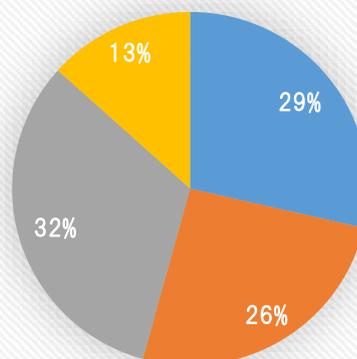
令和6年度 特別の教育課程の児童自己評価結果について

英語の授業の時、進んで学習したり、活動したりしている。



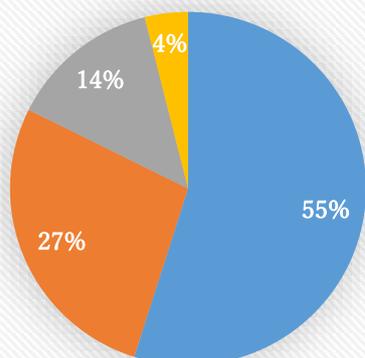
■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

家で、時々英語を使って話そうとしている。



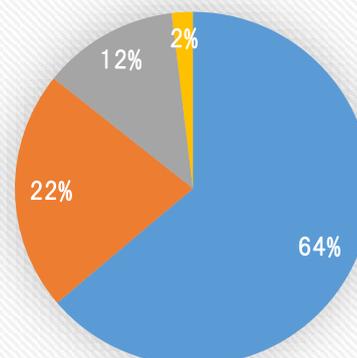
■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

日本や外国の文化や生活について、もっと知りたいと思う。



■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

英語の授業は、たくさんの人と関わるのに役立つと思う。



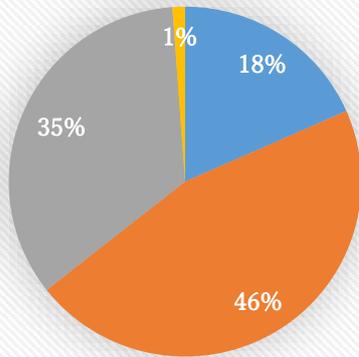
■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

【アンケート結果より】

- 英語を学習することの楽しさや、大切さ、必要性などを感じている割合が多い一方、英語を実生活で使用したり、日常生活を英語でコミュニケーションしたりする割合は多くない。
- 児童が日常生活において、英語をより身近に感じられるようにするために、英語の授業に限らず、学校の様々な教育活動を通じて、英語に関わる活動を行っていく。例えば、道徳科において、他国の人々や文化に親しんだり、国際理解を深め、国際親善に努めようとしたりする学習を行う。また、給食時にランチタイムイングリッシュを行い、ALTが給食のメニューを英語で紹介する。その他にも、身の回りのもの（食べ物、教科、スポーツなど）のイラストと英語で書かれたカードを掲示するなど、外国との関わりについて日頃から児童が考え、触れられるような機会を確保する。

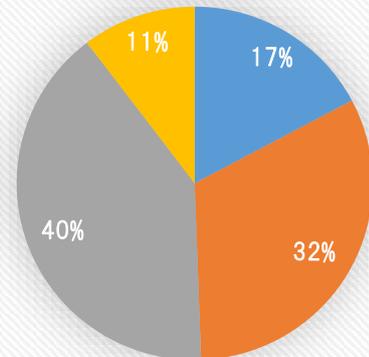
令和6年度 特別の教育課程の保護者評価結果について

本校は積極的に英語活動を推進している。



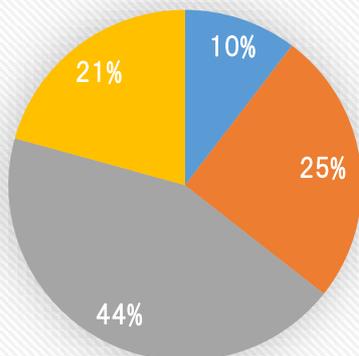
■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

お子様は、学校の英語活動について話している。



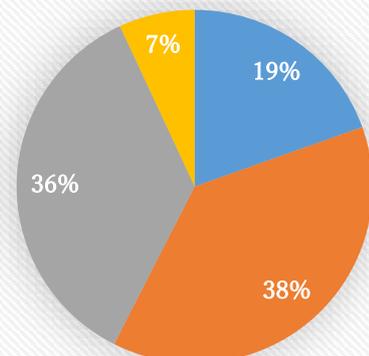
■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

お子様は、ご家庭で時々英語を使って話そうとしている。



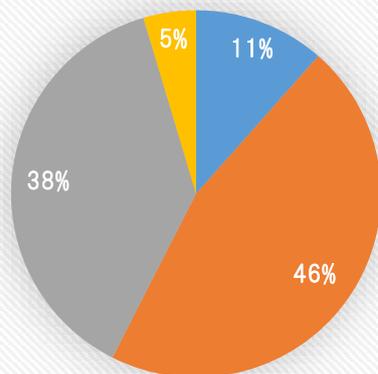
■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

お子様は、日本や外国の文化に興味・関心を示している。



■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

本校の英語活動は、お子様のコミュニケーション能力の育成に役立っている。



■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■全く思わない

本校では、英語を用いて相手のことを理解したり、自分のことを伝えようとしたりする活動を通して、本校学校教育目標「なかよくかしくたくましく～渋沢栄一翁の志を受け継ぎふるさとを愛し夢と思いやりの心をもつ八基の子～」の実現を目指しています。

アンケート結果を参考に、英語を学習することの楽しさや、大切さ、必要性などを感じられるようにするとともに、コミュニケーション能力の育成に、より一層取り組んで参ります。